

議会報告会実施報告書

開催日時	令和4年10月25日 18時00分 ~ 19時 35分	
開催場所	田沢湖総合開発センター	
出席議員	班長 門脇晃幸 副班長 田口寿宜 司会 門脇晃幸 出席議員 西宮三春、真崎寿浩、高久昭二、黒沢龍己 記録者 田口寿宜	
参加市民数	8人	
実施内容報告	議会報告	特段ありませんでした。
	意見交換	地域の課題や要望。日頃感じている事について。
要望・提言等	<p>○田沢地区では、市道田沢沢1号線の道路改良や田沢沢川の河川内の草木の除去、また、林道の早期補修などについて要望をしているが対応が見えない。見える形で対応して頂きたい。</p> <p>○民生委員や行政連絡員のメンバーや仕事内容がいまいち見えない。市民が理解できるよう、仕事内容やメンバーを随時PRするべきであり、その方策を探っていくべき。</p> <p>○死亡の手続きについて、あちこち回る事なく、各市民センター窓口でワンストップ対応出来るように体制を整えていただきたい。また、手続きに必要な物の一覧を渡し、説明する体制も整えていただきたい。</p>	
その他特記事項	○子ども達が仙北市で頑張れるよう、10年後を見据えた色々な施策の展開を図ってもらいたい。	

令和4年10月31日

仙北市議会議長 黒沢龍己様

班長 門脇晃幸

市民との意見交換会 実施報告書

開催日時	令和4年10月25日 18時00分 ~19時40分	
開催場所	仙北市役所 角館庁舎 101・102 会議室	
出席議員	班長 高橋 輝彦 副班長 澤田 雅亮 班員 熊谷 一夫 荒木田 俊一 小林 幸悦 司 会 高橋 輝彦 記録者 澤田 雅亮 報告者 高橋 輝彦	
参加市民数	7 人	
実施内容報告	議会報告	別紙により ・第5回臨時会(8/9開催)の概要を報告 ・第6回定例会(9月)の概要を報告
	意見交換	テーマは設定せずに、フリートークで参加者全員から発言していただいたが、ほとんどが市に対する要望だった。
要望・提言等	<p>◆防災行政無線がよく聞き取れない事象について</p> <p>市民 角館町内の防災行政無線が聞き取れないため、電話を掛けて内容が聞けるシステムが欲しい。</p> <p>議会 テレドームというものがある。(0180-991555)通話が有料であるが、防災行政無線で放送した内容が聞ける。</p> <p>市民 テレドームは、当日の直近の放送しか聞けない。何件か遡って聞くことができるようにして欲しい。</p> <p>議会 安全安心メールというものもあり、携帯電話に登録することで、防災行政無線と同じ内容がメールで届くシステムである。保存することで、過去の放送をいつでも見ることが可能である。</p> <p>市民 市のホームページで、テレドームや安全安心メールの使い方が簡単に分かるようにして欲しい。また、防災行政無線で放送した内容がホームページでも簡単に確認できるようにして欲しい。</p> <p>◆市の広報誌「せんぼく」の発行について</p> <p>市民 仙北市は財政難ということであり、広報誌は月1回の発行で充分である。また、広報誌は市民への情報提供が主であることから、印刷はカラーでなくても十分に伝わる。。</p> <p>議会 ほとんどの市町村は月1回の発行である。</p> <p>◆将来の仙北市をどうしたいのかをはっきりさせて欲しい</p> <p>市民 市民意識調査を実施して結果を公表するのもいいが、この調査を分析して市政にどう活かしていくかが重要である。将来の仙北市をどのよう</p>	

<p>要望・提言等</p>	<p>な街にしたいのかをはっきりさせないと、どこにお金をかければいいのか判らなくなっている。しっかりと方向性を明確にして予算編成すべきではないか。</p> <p>また、本日の意見交換での要望などはいつ、どんな形で出席者に説明してくれるのか。</p> <p>議会 予算編成についてはそのとおりである。本日の皆さまの要望等については、議会に持ち帰り3地区分を集約し、市の担当から回答をもらったうえで早めに議会ホームページなどでも説明したいと考えている。</p> <p>◆市の遊休地の売却について</p> <p>市民 駐車場などに行っている市の遊休地は、競売にかけ早急に売却し、財政の助けにすべきである。</p> <p>議会 角館の旧中町庁舎や旧角館公立病院跡地などを売却する予定であるが、なかなか進展がなく、スピード感がないように見受けられる。</p> <p>◆地域運営体の予算配分について</p> <p>市民 地域運営体の予算が年々削減されている。市の財政が厳しいことから反対はしないが、運営体の規模に関係なく一律30%の減額である。今後の維持管理を考えたときに、各運営体の人口に比例した予算配分にして欲しい。</p> <p>議会 予算を何に使ったらいいのか悩んでいる運営体があると聞いたことがある。また、地域住民のためのお金の使い方ではなく、物品を購入している運営体もあると聞いた。今後は、予算編成前に、来年度はこんなことを実施したいという具体的な計画を立てていただき、地域のために活動する運営体に厚く予算配分する方法にしたらどうかと思っている。</p> <p>◆古城山へのベニヤマザクラ植樹について</p> <p>市民 以前、古城山に植えたソメイヨシノが枯れてしまい、ベニヤマザクラを2年間植えたが、3年目に突然、文化財課から、古城山に穴を掘るなどと言われ、ベニヤマザクラの植樹計画がストップしている状況にある。ソメイヨシノの枯れ木を切って、そこにベニヤマザクラを植えることが何故だめなのか、法律的にどこが問題なのかを問い合わせても返答がない。どうなっているのか納得がいかない。</p> <p>議会 古城山は史跡でもあり、公園でもある。市民の憩いの場とするために、2年間ベニヤマザクラを植えてきたのに、何故急にストップがかかったのかよく分からない。持ち帰り、市から回答をもらうこととしたい。</p> <p>◆古城山へ誘導する看板の設置について</p> <p>市民 角館町づくり地域運営体では、古城山から角館の景観を楽しむために5年程前から古城山の整備を行っている。観光客にも古城山からの景色を楽しんでいただきたいと願っているが、看板等がないため古城山の存在が知られていない。については、古城山に誘導する看板等を設置して欲しい。</p>
---------------	--

議会 持ち帰り、市の担当に検討していただくことにしたい。

◆武家屋敷通りの道路補修について

市民 武家屋敷通りの、特に佐竹家の屋敷側の道路が凸凹であり、ハイヒールが引っ掛かったのを見たこともある。側溝に設けた渡り板も狭く、老朽化も進んでおり、観光客にケガがあつてからでは取り返しがつかないことから、早急に補修をして欲しい。

議会 持ち帰り、市の担当に検討していただくことにしたい。

◆武家屋敷の樹木の枝などの手入れについて

市民 武家屋敷の樹木の枝などが伸び放題となり、危険な状態である。枝が落下しているし、これから冬期間を迎え着雪した雪が大量に落ちてくることも予想されることから、伐採等の処置をお願いしたい。

議会 持ち帰り、市の担当に検討していただくことにしたい。

◆交通指導隊の市の自動車の使用について

市民 今年度から交通指導隊員が有償ボランティアとなり、明確な説明もなく市の自動車の使用を禁止されている。田沢湖マラソンの時に出動要請があり、市の車の手配が一切無いので、全員が自家用車で現地に集合した。なにか問題があつた際の責任と対応はどうなるのかと聞いたが返答が無い状況である。納得できる説明をお願いしたい。

議会 身分が有償ボランティアになったことにより、市の自動車を運転できなくなったと思われるが、これほど重要なことは、隊長には説明しているかと思われるが、持ち帰り、市の説明を要請したい。

◆複合型施設としての曳山会館の建設について

市民 ユネスコ無形文化遺産である「角館のやま行事」を1年中紹介できる曳山会館の建設を強く求める。世界遺産に指定されているのに、紹介していないところはどこにもない。角館の町中に緊急の避難所がないことから、曳山会館を避難所としても活用できるし、現在旧中川小学校で行っている飾山囃子の練習も曳山会館で行うことで、観光客の興味も大きくなること間違いなしである。是非、複合型施設としての曳山会館建設を強く要望したい。

議会 これまで何人もの議員が一般質問で要望しており、その都度、財政難を理由にはぐらかされてきている。田口市長も9月の一般質問の答弁で、季節を問わず観光資源としての価値を観光客に提供できるという観点から、お祭り会館(曳山会館)の必要性は感じているとしている。あとは、どこから建設費を捻出するかにかかっている。

◆白岩にこここ号の(デマンドタクシー)停留所新設について

市民 白岩小学校では、児童数の減少により、野球及びミニバスケットボールのスポ少活動が出来なくなり、角館小学校等でのスポ少活動に参加している。祖父母がいる家庭は良いが、両親共稼ぎやひとり親には、放

<p>要望・提言等</p>	<p>課後に送っていくことが課題になっていることから、放課後に角館小学校への送りをなんとかできないものか。</p> <p>議会 白岩小学校 PTA では、このことについてアンケートを実施したところ、白岩にここを角館小学校まで延長できれば利用したいという子どもたちが数名いたことから、毎年、白岩地区で仙北市に提出している要望書に白岩にここを角館小学校停留所新設について要望している。</p> <p>◆県道への街灯増設への働きかけについて</p> <p>市民 白岩地区から中学校及び高校に自転車で通学している子どもたちにとって、菅沢団地から白岩・広久内方面の県道が暗く、とても危険であるため県道に街灯をつけるなどできないか。</p> <p>議会 県道であることから、仙北市から県に働きかけてもらうようにしたい。</p>
<p>その他 特記事項</p>	<p>全体的に、市民に対して市からの情報提供や説明不足を感じた。もっと市民の立場に立って親身になって対応することで、市民の理解を得られ、幸福度も向上すると思われる。</p> <p>さらなる情報発信の精度を上げることで仙北市の現状を市民が更に理解しやすくなり、市の施策に対する理解度が高まるのではないかと感じた。</p>

令和 4年 10月 28日

仙北市議会議長 黒 沢 龍 己 様

班長 高橋 輝彦

市民との意見交換会 実施報告書

開催日時	令和4年10月25日 18時00分 ~19 時10 分
開催場所	西木総合開発センター
出席議員	<p>班長・司会・報告者 武藤義彦</p> <p>副班長・記録者 平岡裕子</p> <p>小田島広仁 中村和彦 青柳宗五郎</p>
参加市民数	3人
実施内容報告	<p>議会報告</p> <p>○9月定例議会で審査された補正予算内容について 冬期交通対策費(4億 5,738 万 3 千円 小・中学校手洗自動水栓化事業費(1,731 万 4 千円) マイナンバーカード申請支援業務委託事業費(533万2千円)マイナポイント事業費(599万9千円)など可決された。</p> <p>○産業建設常任委員全員から、県知事、御法川国会議員に落合運動公園野球場の改修整備の財源確保を求める意見書の提出議案が採択された。</p>
	<p>意見交換</p> <p>Q.冬期交通対策費は、前年度より削減になっていないか。 A. 前年度並みである。</p> <p>Q. 内陸線上檜木内駅の除雪費が削られていると聞く。確かめて欲しい。これまで、12月から3月までの期間、18万円で駅愛護会が担ってきた。一番列車が早朝5時40分ごろ発車で、その前に通路や乗り場の除雪を終わらせなければならない。降雪の多い時は1回では済まない。担い手の高齢化と機械も旧式となり、厳しい状況にある。燃料費込みの予算で、今年のように燃料高騰の中での削減はいかがなものか。 A.担当課に確認して、報告していただくようにする。</p> <p>Q.選挙の時は、桧木内や上檜木内まで回ってくるが、当選した後、訪れたか。除雪の状態等見に来て欲しい。 A.連絡いただければ、訪問しやすい。</p> <p>Q.夏場の災害等はなかったか。(議員) A.河川改修により、上檜木内(紙風船館近く)は冠水することがなくなった。</p> <p>Q.防災無線は役に立っていないように思う。災害時不安だ。 A. 故障していた防災無線設備(かばやま)を修理する予算はついている。降雪前には完了すると思う。</p> <p>Q. 角館市内を走るバスの空運行を目にする。西木方面に回せ</p>

	<p>ないか。</p> <p>A. 近く、地域公共交通の意見交換会がある。是非参加してほしい。</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の豪雨災害で内陸線阿仁合駅から鷹巣駅まで、不通となっており、バス代行運転となっている。県と北秋田市が工事費を負担しているが、仙北市ではないのか。 ・市のホームページでは、若者はよく見ているので、もっと見やすく、現状を細かく知らせて欲しい。地域運営体は、しばらく更新されていない。 ・市のバスを研修等でもっと活用できないか。 ・農林部の職員配置が不足しているのではないか。
要望・提言等	<p>① 市民の意識調査について</p> <p>アンケートに回答している人が少ない。調査と言えるだろうか。市の方針が見えない。幸福度の具体的な姿が見えない。市長の思いが、市民に伝わらない。広報等でアピールしてもよいのではないか。</p> <p>② 除雪対策について。</p> <p>市道の除雪はよくやられているが、県道や国道は悪い。北秋田市に抜ける道路では、降雪時は、除雪が間に合わずトンネル内で一夜明かす例もある。危険である。関係機関への要望が必要ではないか。</p> <p>③ 地域運営体について</p> <p>集落の高齢化が進んでいる。コロナ禍で地域のコミュニティが薄れつつある。サロンで交流を深めている。行政ができないことを運営体で担っていきたい。</p> <p>④ 企業誘致の必要性について</p> <p>財政難を乗り越えるために、人口を増やす方策が必要である。そのためにも企業誘致を図るべきではないか。</p> <p>⑤ 地域イベントに市職員の参加を仕向けて欲しい。</p>
その他特記事項	特になし

令和 4 年 10 月 31 日

仙北市議会議長 黒 沢 龍 己 様

班長 武 藤 義 彦

～田 沢 湖 地 区～

Q、民生委員のメンバーや業務内容がいまいち見えない。市民が理解できるように、業務内容やメンバーを随時知らせるべきであり、民生委員が地域で機能する方策を探っていくべきではないか。

A、これまで、3年に1度の改選時に顔写真付きで連絡先を広報に掲載していましたが、今後は、1年に1回は地域の担当民生委員の連絡先等を掲載し、3カ月に1回程度、各地区の活動を順に掲載する事を検討しています。

「地域で有効に」という解釈が難しいですが、新たな民生委員も含め、今後の活動で何が出来るかを探っていきたいと考えています。最終的には民生委員を知っていただき、活動内容も分かっただくことで相談等も増えていき、有効と感じていただける方も増えるものと考えています。

Q、行政連絡員のメンバーや仕事内容がいまいち見えない。市民が理解出来るよう、仕事内容やメンバーを随時PRするべきであり、その方策を探っていくべきでは。

A、行政連絡員は地域と行政の橋渡し役として設置しています。連絡員が担う役割や期待される効果について、HP等でのPRを検討します。連絡員については、長期間に渡り務められている方もいれば、地域によって輪番制としている地域もあり交代が多く、個別に同意を得る事が必要な事から、連絡員の紹介については考えておりません。

Q、死亡の手続きについて、あちこち回る事無く、各市民センター窓口でワンストップ対応できるように体制を整えていただきたい。また、死亡した際の各種手続や必要な提出物等の一覧表を準備し、丁寧に説明する体制も整えていただきたい。

A、現状では、田沢湖市民センターと西木市民センターではワンストップサービス体制が整っていると認識しており、角館市民センターでは同フロアの市民生活課と機能分担しながら対応しておりますが、職員の対応や休日等の日直対応に関して不満を感じる事も考えられますので、今後も常に課題として認識しながら丁寧な対応を心掛けていきます。「おくやみコーナー」等、設置の運用も検討していきます。

～角館地区～

Q、市のホームページで、テレドームや安全安心メールの使い方が簡単に分かるようにしてほしい。また、防災行政無線で放送した内容がホームページでも簡単に確認できるようにしてほしい。

A、要望がありましたとおり、テレドームや安全安心メールの使い方について、これまで以上にわかりやすく周知するとともに、放送内容もホームページで簡単に確認できるよう検討します。

Q、仙北市は財政難という事であり、広報誌は月1回発行で充分である。また、広報誌は市民への情報提供が主である事から、印刷はカラーでなくても十分伝わる。

A、市広報の発行回数の削減やモノクロ印刷による発行については、事務事業評価で検討しています。令和5年度からの実施を予定しています（実施済み）。

Q、市民意識調査を実施して結果を公表するのも良いが、この調査を分析して市政にどう活かしていくかが重要である。将来の仙北市をどのような街にしたいのかをはっきりさせないと、どこにお金を掛ければ良いのか分からなくなっている。しっかりと方向性を明確にして予算編成するべきではないか。

A、市民意識調査の結果分析は非常に重要なものと捉えており、別に行っている事務事業評価などとあわせ予算編成を進めて行きます。

Q、地域運営体について、予算を何に使ったら良いのか悩んでいる運営体があると聞いた事がある。また、地域住民の為のお金の使い方ではなく、物品を購入している運営体もあると聞いた。今後は、予算編成前に、来年度はこんな事を実施したいという具体的な計画を立てていただき、地域の為に活動する運営体に厚く予算配分する方法にしたらどうか。

A、令和4年9月に開催された地域運営体連絡協議会で、解散を望む声や予算の使い方について同様の意見がありました。事務事業評価では「条件付き継続」の判定であり、令和5年度は各運営体と細かなヒアリングを行い、廃止・縮小も含め今後の在り方を協議する予定としています。

Q、市の遊休地の売却について、駐車場などになっている市の遊休地は競売にかけ、早急に売却し財政の助けにするべきである。

A、仙北市が所有する土地で遊休地となっているものについては、将来に渡って利活用が見込めないものについて、早急に売却を進めて行きます。

Q、令和4年度から、交通指導隊員が有償ボランティアとなり、明確な説明もなく市の自動車の使用を禁止されている。田沢湖マラソンの際に出動要請があったが、市の車の手配が一切なかったため、全員が自家用車で現地に集合した。何か問題があった際の責任と対応はどうかと聞いたが、返答が無い状況にある。納得できる説明をお願いしたい。

A、交通指導隊の有償ボランティアについては、令和2年度から実施されております。車両の運用については、指導隊役員会の席上で職員が説明しており、各隊員へ伝達がされていると認識しております。各隊員には活動中の事故に備えてボランティア保険に加入しております。以上の事は、令和2年に全隊員へ文章でお知らせしております。

Q 白岩地区から中学校及び高校に自転車で通学している子ども達にとって、菅沢団地から白岩・広久内方面の県道が暗くとても危険である。県道に街灯を設置するよう、市から県に働き掛けをしていただきたい。

A、要望のありました箇所については、電力柱の有無など設置できる環境にあるかを調査し、設置を検討します。

～西木地区～

Q、内陸線上桧木内駅の除雪費が削られていると聞く。確かめて欲しい。これまで、12月から3月までの期間、18万円で駅愛護会が担って来た。1番列車が早朝5時40分頃発車で、その前に通路や乗り場の除雪を終わらせなければならない。降雪が多い時は1回では済まない。担い手の高齢化と機械も旧式となり、厳しい状況にある。燃料費込みの予算であるが、燃料費高騰の中での削減はいかなものか。

A、愛護会に担っていただいている上桧木内駅の管理補助金は、令和元年度から203,800円が変わらず増減は生じていません。令和4年度は老朽化した除雪機の購入を行っています。ご指摘のとおり、担い手の高齢化や燃料費の高騰などの課題もありますが、限られた予算内で行っていただけるよう、お願いをしていきたいと考えています。

Q、角館市内をはしるバスの空運転を目にする。西木方面に回せないか。

A、ご指摘のとおり、バスの空運行は大きな課題です。原因としては、あらかじめ決められたルートを運行する為、予約の手間は省けるものの、利用者が意図しない時間を有する事（利便性が低い）であると考えています。

市では、効率的な運行が可能なデマンドタクシーの更なる利便性の向上に努めたい方向で、新たなバス運行については相当慎重に検討しなければならないと考えています。

Q、夏の豪雨災害で、内陸線阿仁合駅から鷹巣駅まで不通となった。県と北秋田市が工事費を負担しているが、仙北市での負担はないのか。

A、災害箇所が北秋田市地内であり、県の判断で仙北市の負担は生じない事になりました。しかしながら、同様の災害が仙北市内で発生した場合、復旧に要する工事費について県と協議を行う必要があると考えています。

Q、市のホームページについて、もっと見やすく現状を細かく知らせて欲しい。地域運営体はしばらく更新されていない。

A、市のホームページでの情報発信について、LINEによるセグメント配信と合わせ、より分かりやすく詳細を伝えるよう努めます。地域運営体の掲載ページは、11月16日（令和4年）に更新を予定しています。

Q、市のバスについて、研修等で市民がもっと活用する事ができないか。

A、市が所有しているバスは公用車である為、その使用方法について制限されていますが、市が実施する事業や市に関わる事業において市民にご利用いただいております。

Q、市民意識調査について、アンケートに回答している人が少ない。調査と言えるだろうか。市の方針が見えない。幸福度の具体的な姿が見えない。市長の思いが市民に伝わって来ない。広報等でアピールしても良いのではないか。

A、仙北市の場合、単一的な質問の場合、統計学上は400人程度のサンプル数で事足りるとされていますが、地区別、男女別の分析を行う必要があります、その約3~4倍のサンプルが得られるように3,000人を対象に行いました。有効回答率は42.5%で1,274人のサンプルを得ております。しかし、裏を返せば半数以上の方が関心を持たなかった事になり、もっと沢山の方から回答を得られるよう、市の方針、市長の考えを積極的にアピールしていきます。

Q、地域のイベントに地域の市職員の参加を仕向けて欲しい。

A、地域イベントへの積極的な参加について強制は出来ませんが、これまでも推奨しています。今後も参加するよう促します。